昭和大学大学院　学位論文(博士)審査基準

学位論文審査は、審査委員会(主査、副査)において、以下の全ての基準を満たすことを確認した上で、厳正かつ公正に審査した結果を、所属大学院研究科教授会において報告し、審議が行われるものとする。

1.　論文への貢献と責任

(1)『昭和大学におけるオーサーシップ・ポリシー』が遵守されている。

2.　研究目的の明確性

　（1）研究目的の学術的あるいは社会的位置付けが示されている。

　（2）研究目的が明確かつ適切である。

　（3）研究目的と関連する領域の文献が適切に引用されている。

3.　研究方法の妥当性

　（1）研究目的を達成するのに適切な方法が用いられている。

　（2）調査方法やデータの分析方法および手順が適切である。

　（3）研究方法が倫理面において適切である。

4．研究結果と考察の妥当性

　（1）研究結果が図表等を用いて明瞭に示されている。

　（2）研究結果は今後の研究の発展につながることが認められる。

　（3）先行研究と研究結果に基づいて考察がなされ、研究目的に対応している。

5．研究の独創性

　（1）新規性が期待できる研究である。

　（2）研究成果は継続した研究によって当該分野の発展が期待できる。

6．研究成果の発表能力

　（1）発表において、適切な手法および表現を用いている。

　（2）発表において、専門外の者も内容を理解できるような工夫がなされている。

　（3）質疑に対して的確に応答できる。

**昭和大学大学院　学位論文(博士)審査評価票**

学位申請者　分野名：（学位申請者が入力してください　氏名：（学位申請者が入力してください）

審査委員(主査・副査)：　　　　　　　　　　　　　　　　　　(自署)

審査日:　　　　年　　月　　日　審査場所：

 諾・否に○をしてください

**１．論文への貢献と責任**

(1)『昭和大学におけるオーサーシップ・ポリシー』が遵守されているか諾　 ・　否

**２．研究目的の明確性**

(1)研究目的の学術的あるいは社会的位置付けが示されているか 諾　・　否

(2)研究目的が明確かつ適切であるか 諾　・　否

(3)研究目的と関連する領域の文献が適切に引用されているか 諾　・　否

**３．研究方法の妥当性**

(1)研究目的を達成するのに適切な方法が用いられているか 諾　・　否

(2)調査方法やデータの分析方法および手順が適切であるか 諾　・　否

(3)研究方法が倫理面において適切であるか 諾　・　否

**４．研究結果と考察の妥当性**

(1)研究結果が図表等を用いて明瞭に示されているか 諾　・　否

(2)研究結果は今後の研究の発展につながることが認められるか 諾　・　否

(3)先行研究と研究結果に基づいて考察がなされ、研究目的に対応しているか 諾　・　否

**５．研究の独創性**

(1)新規性が期待できる研究であるか 諾　・　否

(2)研究成果は継続した研究によって当該分野の発展が期待できるか 諾　・　否

**６．研究成果の発表能力**

(1)発表において、適切な手法および表現を用いているか 諾　・　否

(2)発表において、専門外の者も内容を理解できるような工夫がなされているか 諾　・　否

(3)質疑に対して的確に応答できるか 諾　・　否

判　定(いずれかに〇)　：　合　格　・　不合格

評価に「否」がある、もしくは判定が「不合格」の場合は理由を必ず記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※合格のためには、評価項目の全てが「諾」である必要があります。 作成日：令和3年10月5日